

# 笑ってごらん

第 671 号 2020. 1. 22 発行

～今日の格言～

礼儀正しさは人を飾り、

しかも金はかからない。

《イギリスのことわざ》



私が小学生の頃、マンガ雑誌に「未来の世界」みたいなタイトルのイメージイラストがあった。そこには運転者のいない空を飛ぶ車で移動する光景が描かれていた。近未来を想像しながらワクワクした気持ちで 1 枚のイラストを飽きることなく眺めていたものだった。

21 日朝刊に、国内のある自動車会社が、「2030 年までに世界販売台数の 4 割以上を電気自動車(EV)かハイブリッド車 (HV) にする」という長期目標を発表したことが報じられた。併せて、30 年代前半には生産・販売する全ての車に電動技術を搭載することも掲げられている。

ガソリンなど石油系燃料から電気・水素などの燃料に完全シフトする時代もそう遠くはないのだろう。

TV の CM では自動運転・自動ブレーキ技術がアピールされているのを目にすることも多くなってきた。まさに冒頭に掲げた世界の実現が近いのかも知れない。



私が大学生の頃は携帯電話など持っていなかった。また、大学にあるパソコンの記録媒体は 8 ～ 16 メガバイトのペラペラなディスクだった。それがこの 30 年で多くの人が手のひらサイズのスマートフォンを持ち、パソコンも普及・小型化され、記録媒体は USB メモリを経てクラウドへと移行、情報量の単位はテラバイトにまで進化している。また、今や AI に頼めば労力をかけずに短時間で多くの仕事が片付くようになった。ただ、AI にも難しいことがある。それは、今存在していない全く新たなものを想像してゼロから作り上げること。AI がどんなにビッグデータを駆使したとしても、「こんな世の中になったらいいな」という想像を基に創造する力は人間のほうが優れていると言える。

皆は情報化社会のまっただ中に生まれてきた。今後、スピードの早い技術開発の中で生きていくことになる。

今できること、それは新聞を読んだりニュースを聞いたりして、自分から積極的に情報を取り入れる習慣を身につけること。そして、周りの人々と関わる中で、多様な考えに触れながらも、自分でしっかりと物事を考え、自分なりのイメージーションを持つこと。夢が夢でなくなり、現実化する時代が既に到来している。

## 技術革新

～．～．～．～．～．～．～．～．～．

本校も入学試験期間の最中にあるが、この 3 学期は進路を決めるにあたっての大事な試験が続く。

先日、大学入試センター試験が行われ、本校からも 53 名が受験した。今回をもってセンター試験は最後。来年度からは「大学入学共通テスト」となり、内容も一新される。英語民間業者テスト導入や記述式問題導入が見送られたことは記憶に新しいが、近々正式な内容が示されるだろう。

今月 26 日には介護福祉士国家試験が、来月 16 日には看護師国家試験が行われる。必勝！！

